日本育種学会　第120回講演会プログラム
2011年秋季　福井県立大学

大会本部(9月23・24日のみ　TEL. 0776-61-6000 内線 5204)

9月22日 (木)	午後	幹事会　15:00-18:00　(JR福井駅東口アオッサ6階 福井市地域交流プラザ研修室601)

9月23日 (金)	午前	ポスター奇数番号　10:00-11:00　(体育館)
		ポスター偶数番号　11:00-12:00　(体育館)
	午後	総会・学会賞授賞式　13:00-14:00　(交流センター講堂)
		学会賞受賞講演 14:10-17:00 (交流センター講堂) 学会賞 14:10-14:40　アブラナ類の小胞子胚形成の遺伝育種学的研究 高畑義人(岩手大学農学部) 14:40-15:10　コムギ澱粉変異体の作出とその育種利用に関する研究 中村俊樹(農研機構東北農業研究センター・めん用コムギ研究東北サブチーム) 15:10-15:40　日本各地に適した稲発酵粗飼料および飼料用米向け水稲品種シリーズの開発 農研機構・飼料用水稲品種の研究開発グループ(代表者:加藤浩) 奨励賞 16:00-16:20　イネにおける葉の分化パターンの分子遺伝学的研究 伊藤純一(東京大学大学院農学生命科学研究科) 16:20-16:40　葉老化に関する分子遺伝学的研究 佐藤豊(独立行政法人農業生物資源研究所・ゲノムリソースセンター) 16:40-17:00　イネの根系形成機構の解明と育種への応用 犬飼義明(名古屋大学大学院生命農学研究科植物遺伝育種学研究分野)
		懇親会　18:30-20:30 (JR福井駅東口アオッサ8階 福井県県民ホール)

		第1会場 共通講義棟 107教室	第2会場 共通講義棟 108教室	第3会場 共通講義棟 109教室	第4会場 共通講義棟 110教室	第5会場 共通講義棟 111教室	第6会場 共通講義棟 112教室	第7会場 共通講義棟 113教室
9月24日 (土)	午前	ゲノム解析・DNAマーカー 101-112 9:00-12:00	ゲノム解析・DNAマーカー 201-213 9:00-12:15	変異創成 301-312 9:00-12:00	発生 401-412 9:00-12:00	抵抗性・耐性 501-513 9:00-12:15	育種情報・データーベース 601-604 9:00-10:00	増殖・生殖 701-713 9:00-12:15
							品質成分 605-613 10:00-12:15	
	午後	ゲノム解析・DNAマーカー 113-120 13:30-15:30	ゲノム解析・DNAマーカー 214-221 13:30-15:30	変異創成 313-320 13:30-15:30	発生 413-420 13:30-15:30	抵抗性・耐性 514-518 13:30-14:45	品質成分 614-617 13:30-14:30	遺伝資源・系統分化 714-723 13:30-16:00
						収量・バイオマス 519-521 14:45-15:30	品種育成・育種法 618-624 14:30-16:15	
		グループ研究集会 15:45-18:30 (共通講義棟111、112、113教室)						

9月25日 (日)	午後	市民公開シンポジウム 13:00-16:30 (福井県立大学交流センター講堂) 「みんなで話し合う福井の作物と農業 ― 食糧生産と文化の視点から ―」 主任:大田正次(福井県立大学生物資源学部) 1. 高温でもきれいに実る水稲品種を目指して　冨田　桂 (福井県農業試験場) 2. いもち病に強いコシヒカリ―コシヒカリBLの成果と課題　福山利範 (新潟大学農学部) 3. 地元産コムギで地産地消―水田転換作物の提案　村井耕二 (福井県立大学生物資源学部) 4. 在来作物の魅力と活用―山形を例に　江頭宏昌 (山形大学農学部) 5. 福井における伝統野菜の育種　野村幸雄 (福井県丹南農林総合事務所) 6. 地域農業の現状から10年後の姿を考える　北川太一 (福井県立大学経済学部)

ポスター発表プログラム（9月23日）

奇数番号　10:00-11:00　偶数番号　11:00-12:00（体育館）

1. 品種育成・育種法

P001 複合耐病性を有する高品質ビール大麦品種「彩の星」の育成
荒井正一1・〇金谷良市1・斉藤渉1・保木健宏1・木原誠1・高橋進1・小林千裕2・七森理仁2・吉田慎一郎3・山田眞司1(1. サッポロビール（株）バイオ研究開発部2. サッポロビール（株）群馬工場第2製造部3. サッポロビール（株）　商品・技術開発センター)

P002 閉花性で赤かび病抵抗性に優れる「小麦中間母本農9号（赤かび系3号）」の育成
〇久保堅司1・河田尚之1・藤田雅也1・八田浩一1・松中仁1・小田俊介2・波多野哲也1・関昌子3・吉岡藤治4・乙部千雅子2・中島隆1(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・作物研3. 農研機構・中央農研4. 農研機構・近中四農研)

P003 いもの形状や貯蔵性に優れる焼酎用サツマイモ新品種「サツママサリ」の育成
〇片山健二1・甲斐由美2・境哲文2・熊谷亨3・石黒浩二4・中澤芳則2・吉永優2(1. 作物研2. 九沖農研3. 農研機構4. 北農研)

P004 グロースチャンバーを用いた簡便なイネの種子生産用水耕栽培法
〇黒田昌治・池永幸子(農研機構・中央農研北陸研究センター)

2. 育種情報・データベース

P005 イネの遺伝子発現ネットワーク解析とデータベースOryzaExpressの構築
☆濱田和輝1・深澤開1・長山大志1・横山幸治1・土田博子1・五十嵐香理1・倉田のり2・矢野健太郎1(1. 明治大・農・バイオインフォマ2. 遺伝研・植物遺伝)

P006 シロイヌナズナゲノム情報を用いたハクサイcDNAリソース整備とデータベース開発
〇安部洋1・佐々木一誠1・畠山勝徳2・鳴坂真理3・田村卓郎4・深海一小林薫1・鳴坂義弘3・小林正智1(1. 理化学研究所バイオリソースセンター2. 野菜茶業研究所3. 岡山県生物科学総合研究所4. ビッツ株式会社)

3. 遺伝資源・系統分化

P007 インドにおけるエンマーコムギの栽培と伝統的利用
〇大田正次1・森直樹2・千葉一3・V. Shinde4・長田俊樹5(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農学3. 東北学院大4. デカンカレッジ5. 総合地球環境学研)

P008 長井系ハナショウブの後代植物における形態的特性
☆北原（酒井）かおり1,4・村井良徳2,3・房相佑1・岩科司3・金子幸雄1(1. 宇都宮大農2. 慶應大・化学3. 国立科博・植物4. 東京農工大院連農)

P009 ダイズ在来系統ダダチャマメの系統分化
☆小西省吾・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農学部)

P010 アワ在来品種におけるフェノール酸化酵素(*PPO*)遺伝子の変異とフェノール反応性との関係
☆井上賢彦1・人見えり子1・一谷勝之2・河瀬眞琴3・福永健二1(1. 県立広島大生命環境学2. 鹿児島大農学3. 農業生物資源ジーンバンク)

P011 日本キビ在来品種のモチ性の起源
荒木美絵1・沼岡亜弥1・河瀬眞琴2・〇福永健二1(1. 県立広島大生命環境学部2. 農業生物資源ジーンバンク)

P012 アブラナ科植物における葉緑体ゲノムの変異に基づくCMS細胞質の探索
☆筒井康太1,2・房相佑1・金子幸雄1(1. 宇都宮大農2. 東京農工大院連農)

P013 SSRマーカー遺伝子型に基づいたダイズ農林認定品種間の類縁関係
☆佐山貴司・横田侑子・諏訪間崇治・笹間博子・加賀秋人・石本政男(農業生物資源研究所)

P014 野生ダイズの遺伝的多様性と種子成分のメタボリック・プロファイリングとの関係
☆横田侑子1・佐山貴司1・笹間博子1・廣瀬亜矢2・小松邦彦2・加賀秋人1・石本政男1(1. 生物研2. 北農研)

P015 デュラムコムギの種子硬度変異
〇八田浩一1・松中仁1・久保堅司1・藤田雅也1・丹野研一2(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 山口大農)

P016 イネの根の伸長方向に関わる形態評価と多様性
〇半澤栄子1・佐々木和浩1・宇賀優作2・佐藤雅志1(1. 東北大院生命科学2. 生物研)

4. 変異創成

P017 重イオンビーム照射により誘発された主要アレルゲン欠失落花生系統の探索
☆C. Cabanos1・片山弘基1・占部裕幸1・桑田主税2・室田有里2・阿部知子3・奥本裕1・丸山伸之1(1. 京大農学2. 千葉県農林総合研究センター3. 理化学研究所)

P018 イネ温度感受性virescent変異体の解析
☆森田竜平1,2・中川繭3・林依子2・小暮祥子2・竹久妃奈子2,4・東海林英夫2・佐藤雅志5・阿部知子1,2(1. 理研イノベーション推進センター2. 理研仁科センター3. 名古屋大院・生命農学4. 生物研5. 東北大院・生命科学)

P019 *OsMADS6* に挿入変異を生じた活性型トランスポゾンの挙動
☆齋藤生・石川隆二(弘前大学農学生命科学部)

P020 パーティクルガンを用いたイネ雑種弱勢原因遺伝子*HWC1*の一過性発現によるプログラム細胞死の誘導
☆沖山友哉1・一谷勝之2・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨大農2. 鹿児島大農)

P021 *Nicotiana nudicaulis* と *N. tabacum*の正逆種間雑種致死における原因ゲノムの特定
〇劉泓鑠・星尾実聖・正木祐輔・森洋二郎・丸橋亘(明治大学農学部)

P022 *Brassica oxyrrhina* 細胞質ハクサイ類の育成と雄性不稔の汎用性
〇沈受玄・房相・金子幸雄(宇都宮大学)

P023 細胞遺伝学および分子生物学的特性による*Diplotaxis tenuifolia*（C_3–C_4中間植物）1染色体添加型*Brassica oleracea*（C_3植物）の分類
☆岡本悠作・房相佑・金子幸雄(宇都宮)

P024 ダイコン一対染色体添加型ナタネの形態学的および細胞学的特性
☆大関幸代1・高橋（赤羽）美智子1,2・近藤和佳1,3・筒井康太1,4・房相佑1・金子幸雄1(1. 宇都宮大農2. 岩手大農3. 横浜市大木原生研4. 東京農工大院連農)

P025 細胞分裂関連遺伝子を発現抑制させた形質転換シロイヌナズナはネクロティックに枯死する
☆水野信之1,2,3・漆川直希4・宅見薫雄3(1. 京大院農2. 日本学術振興会特別研究員3. 神戸大院農4. 岡山大学植物研)

P026 ギニアグラスを用いたアポスポリー性胚嚢始原生殖細胞単離の試み
〇陳蘭荘1,2・西村佳子2(1. 南九州大環境園芸2. 南九州大園芸・食品科学)

P027 イネプロラミンmRNAの特定小胞体への局在化に関与する因子のTILLING法を用いた突然変異体の選抜
☆谷口晃一1・藤本若菜1・T. Okita2・熊丸敏博1(1. 九州大学大学院生物資源環境科学府2. ワシントン州立大学生物化学研)

P028 アポミクシス特異的遺伝子の機能解析—シロイヌナズナへのASG-1遺伝子導入の試み—
〇西村佳子1・鉄村琢哉2・陳蘭荘1,3(1. 南九州大学園芸・食品科学2. 宮崎大農3. 南九州大環境園芸)

P029 トウガラシの種間接木変異によって誘導された成熟果実色変異を制御するカロテノイド生合成遺伝子の解析
☆山口智弘・平田豊・川合伸也(農工大　院　農)

5. 抵抗性・耐性

P030 イネ科植物におけるいもち病真性抵抗性遺伝子*Pit*の進化
〇林敬子1・安田伸子1・吉田均2(1. 中央農業総合研究センター2. 作物研究所)

P031 クロロシスを示す合成パンコムギにおけるコムギいもち病菌に対する病害抵抗性の上昇
☆中野裕樹・土佐幸雄・宅見薫雄(神戸大農学)

P032 コシヒカリ準同質遺伝子系統を用いたイネ縞葉枯病抵抗性遺伝子の評価
〇前田英郎1・出田収2・松下景2・春原嘉弘1(1. 農研機構　作物研究所2. 農研機構　近中四農研センター)

P033 ダイズのダイズシストセンチュウ抵抗性におけるPI88788由来抵抗性遺伝子*rhg1-b*の効果
〇山田直弘1・佐山貴司2・笹間博子2・高橋将一3・坪倉康隆1・山田哲也1・平田香里1・石本政男2・羽鹿牧太1(1. 作物研2. 生物研3. 九州沖縄農研)

P034 活性酸素のリサイクルとリユースによる環境ストレス耐性組換えジャガイモの育成
☆A. Eltayeb1・Eltayeb H.Mohamed E.2・辻本壽1・田中浄2(1. 鳥取大学乾燥地研究センター2. 鳥取大学大学院連合農学研究科)

P035 *rcn1*変異体を用いたイネの根の通気組織形成遺伝子の発現解析
☆山内卓樹1・塩野克宏2・高牟禮逸朗3・長村吉晃4・堤伸浩5・西澤直子5,6・加藤清明7・中園幹生1(1. 名大院生命農学2. 福井県立大3. 北大農院4. 農業生物資源研究所ゲノムリソースセンター5. 東大農学生命科学6. 石川県立大生物資源工学研究所7. 帯広畜産大)

P036 隔離ほ場における耐塩性遺伝子組換えユーカリの生物多様性影響評価
☆樫村友子1・于翔1・小口太一1・松永悦子2・南藤和也2・大石正淳2・菊池彰1・渡邉和男1(1. 筑波大院生命環境科学2. 日本製紙（株）アグリ・バイオ研)

P037 人工的乾湿反復法による水稲の胴割れ耐性の安定した評価
☆林猛・小林麻子・冨田桂(福井県農業試験場)

P038 シロイヌナズナのU-box E3ユビキチンリガーゼPUB20、21の発現パターンと局在の解析
〇小林紫緒・津釜大侑・高野哲夫(東大アジアセンター)

P039 ヤトロファの乾燥応答性遺伝子の解析
〇多田雄一1・勝又友希2・吉田雄磨2(1. 東京工科大・応用生物2. 東京工科大院・バイオ情報メディア)

P040 湛水条件下でダイズの胚軸において形成される二次通気組織の解析
☆柳川麻子1・高橋宏和2・平賀勧3・島村聡4・中園幹生2(1. 名古屋大・農学2. 名古屋大院・生命農学3. 作物研4. 東北農研)

P041 Isolation and identification of novel partners interacted with Arabidopsis type 2 C protein phosphates 52 (AtPP2C52) using yeast two-hybrid system
〇劉華1・津釜　大侑1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東京大学農学生命科学2. 中国東北林業大学)

P042 ダイズ耐塩性準同質遺伝子系統の圃場における耐性の評価
〇許東河1・D. Tuyen1・半澤栄子2・佐藤雅志2(1. 国際農林水産業研究センター2. 東北大学大学院生命科学研究科)

P043 イネのハーフサイズABCタンパク質Gサブファミリーの網羅的発現解析
〇松田修一1・小森のぞみ1・古川薫1・船引厚志1・得字圭彦1・高牟礼逸朗2・加藤清明1(1. 帯広畜産大学2. 北海道大学大学院農学研究院)

P044 栽培および野生イネにおける低温順化反応性の解析
A. Baruah1・小熊恭代1・石郷岡典子1・上床修弘1・佐野芳雄1・〇大西一光1,2(1. 北海道大学農学研究院2. 帯広畜産大学)

P045 ダイコン品種における発芽期ならびに発芽後成育初期の低温感受性の転移
〇下村尚子1・石川拓朗2・岡田高明3・深谷拓実4・宍戸理恵子5・野村和成6(1. 日本大生物資源2. 日本大生物資源3. 日本大生物資源4. 日本大生物資源5. 日本大生物資源6. 日本大生物資源)

P046 コムギミオイノシトールーリン酸合成酵素遺伝子*TaMIPS*の単離と解析
〇下坂悦生・村山誠治(農研機構北海道農研)

P047 未熟期におけるコムギ穂発芽耐性の品種間差異
〇松中仁1・蝶野真喜子2・八田浩一1・久保堅司1・藤田雅也1(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・作物研)

6. 品質成分

P048 温度に応答するダイズ種子成分と遺伝子発現
〇山田哲也1・小林秀樹2・山下祐佳1・森芳広1・鳥井綾子1・阿形宙也1・阿部純1(1. 北大院農2. 北大農)

P049 オオムギ*amo1*遺伝子に連鎖するDNAマーカーによる高βグルカン含量系統の選抜
☆高橋飛鳥1・武田真2・佐藤和広2・吉岡藤治1,3・柳澤貴司1,3(1. 農研機構　近中四農研2. 岡山大植物研3. 作物研)

P050 デンプンやβ-グルカンの変異を有する準同質遺伝子系統を用いた大麦精麦の吸水特性
〇柳沢貴司1,2・青木恵美子1・高橋飛鳥2・長嶺敬2,3(1. 農研機構　作物研究所2. 農研機構　近畿中国四国農業研究センター3. 農研機構　中央農業総合研究センター)

P051 ダイズ品種「トヨシロメ」に見出された高ショ糖遺伝子の特性
〇穴井豊昭・井上大輔・古賀晴香(佐賀大 農学部)

P052 サポニン組成変異ツルマメと栽培大豆との雑種後代種子に蓄積する新規サポニン成分の化学構造解析
〇今健亘1・本多のぞみ1・高田吉丈2・加藤信3・菊池彰夫3・石本政男4・村岡宏樹5・小川智5・塚本知玄1(1. 岩手大院・農2. (独)農研機構・近中四農研3. (独)農研機構・東北農研4. (独)農業生物資源研5. 岩手大・工)

P053 湯浴処理による塩基性7Sグロブリンのダイズ種子外への分泌における品種間差異
〇藤原圭吾・小林泰則・丸山伸之(京大院農)

P054 A large genetic variation in phenolic compound contents of seed coat among black soybean cultivars
☆S. Phommalath・寺石政義・築山拓司・奥本裕(京大院農学)

P055 ダイズサポニンのC-21位の構造多様性に関わる候補遺伝子群
☆高木恭子1・高田吉丈2・菊池彰夫3・加藤信3・諏訪間崇治4・笹間博子1・佐山貴司1・栃木佐枝子1・塚本知玄5・石本政男1(1. 生物研2. 近中四農研3. 東北農研4. 北農研5. 岩手大院農)

P056 7S欠失大豆の豆腐加工適性はなぜ不安定なのか？
〇羽鹿牧太・山田直弘・山田哲也・平田香里(作物研究所)

P057 油含量の異なるセイヨウナタネ間の種子登熟過程で差異のある遺伝子群の解析
☆土井寿子・赤羽美智子・秋山(山田)仁美・ケネディ(赤坂)庸子・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)

P058 主成分分析に基づく二粒系コムギから普通系コムギにいたる種子形態の変遷
☆岡本裕樹・宅見薫雄(神戸大農学)

P059 32℃の高温条件下における登熟期高温耐性の品種間差異
☆水永美紀1・小林麻子2・奥野員敏1(1. 筑波大院生命環境2. 福井県農業試験場)

P060 ソース・シンクバランスの変化がイネ胚乳デンプン合成系遺伝子の発現に与える影響
〇犬飼剛(北大院農)

P061 Wx遺伝子に関する準同質遺伝子系統の小麦粉品質と製パン性
〇関昌子1・松中仁2・小島久代3・藤田雅也2・乙部千雅子3・小田俊介3・中村俊樹4・齊藤美香4(1. 農研機構中央農研2. 農研機構九沖農研3. 農研機構作物研4. 農研機構東北農研)

7. 収量・バイオマス

P062 交配育種およびガンマ線照射利用による立ち型草姿サツマイモの育成
〇藏之内利和1・藤田敏郎1・熊崎忠2・熊谷亨3・片山健二1(1. 農研機構作物研究所2. 豊橋技術科学大学3. 農研機構)

P063 イネ高位分けつ変異体NM3-691の表現型解析
☆保浦徳昇1・長戸康郎2・北野英己1(1. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター2. 東大農学生命科学)

P064 イネの1穂粒数増加に関わる遺伝子が異なる肥培条件において収量関連形質に及ぼす効果
☆中野利哉1・本庄弘樹2・坂紀邦2・尾賀俊哉2・池田真由子3・保浦徳昇3・北野英己3(1. 名大院生命農学2. 愛知農総試3. 名大生物機能開発利用研究センター)

P065 シロイヌナズナの初期生育に見られるヘテローシスは開花時期とは独立である
☆川邊隆大1・E. Dennis2・藤本龍3(1. 株式会社渡辺採種場2. CSIRO Plant Industry 3. 新潟大学大学院自然科学研究科)

8. 発生

P066 KNOX遺伝子が異所発現する新たなイネ突然変異体の同定
☆石橋まゆ・伊藤幸博(東北大農)

P067 極晩抽性素材つけな中間母本農2号(*Brassica rapa*)におけるハクサイ*FLC*の発現解析とスプライシングバリアント
☆北本尚子1・由比進2・高畑義人1・横井修司1(1. 岩手大学農学部2. 東北農研)

P068 タルホコムギ日長感応性変異のF_2集団を用いた遺伝解析
☆香山佳代子・奥村ゆりか・宅見薫雄(神戸大農学)

P069 パパイヤ性染色体上のMADS box protein遺伝子とmonodehydroascrobate reductase遺伝子のクローニングと発現解析
〇浦崎直也1・太郎良和彦1・首藤亜耶乃1・玉城盛俊1・上野広樹2・吉田健太郎3・安谷屋信一4・松村英生2(1. 沖縄県農研セ2. 信大遺伝子3. 岩手生工研4.琉大農)

P070 シロイヌナズナの三量体Gタンパク質βサブユニット (AGB1) はブラシノステロイド信号伝達に関与する
津釜大侑・〇高野哲夫(東大アジアセンター)

9. 増殖・生殖

P071 形質転換可能な一年生テンサイ作出の試み:テンサイ生殖研究の基盤研究
☆鏡豊代1・松平洋明2・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大・大学院農学院2. 北海道農業研究センター)

P072 高度培養適性を保持するテンサイ系統において再分化過程で特異的に発現する遺伝子の探索
☆松平洋明1・鏡豊代2・田口和憲1・久保友彦2・三上哲夫2(1. 農研機構・北海道農研2. 北大・院・農)

P073 テンサイOwen型細胞質雄性不稔(CMS)に働く新規稔性回復遺伝子の同定
☆本間雄二朗1・田口和憲2・樋山肇1・栗野里香1・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大院・農2. 北海道農業研究センター)

P074 ダイコンのオグラ型細胞質雄性不稔に対する稔性回復遺伝子Rftのマッピング
☆安本景太1・寺地徹2・山岸博2(1. 京都産大工2. 京都産大総合生命科学)

P075 ホウレンソウの雄性および間性発現に関わる遺伝子間の対立性検定
☆山本 和輝山本 和輝・小野寺康之・三上哲夫(北大院・農)

P076 肥後菊の花弁培養におけるシュート形成過程の組織学的観察
〇松田靖・高宮陽司・金子博・村田達郎(東海大学農)

P077 水稲の自然交雑率を変動させる要因 ～開花特性の品種間差異を中心として～
☆水口亜樹1・芝池博幸2・大森伸之介1・横山宏太郎1・小南靖弘1・青木秀之1・矢頭治1(1. 農研機構中央農研センター2. 農業環境技術研究所)

10. ゲノム解析・DNAマーカー

P078 染色体断片置換系統群を用いた日本型品種ササニシキの炊飯光沢に関するQTL解析
〇早坂浩志(宮城古川農試)

P079 山田錦の両親系統における酒造好適性にかかわる染色体領域の推定
☆八軒雄大1・吉田晋弥2・石井尊生3・太田淳4・明石貴裕4・西村顕4・森 直樹1(1. 神戸大院農・遺伝2. 兵庫県立農林水産技術総合センター3. 神戸大院農・育種4. 白鶴酒造(株)研究開発室)

P080 長穂性イネ系統を用いた穂形質に関するQTL解析
☆安藤考紀1・保浦徳昇2・池田真由子2・芦刈基行2・松岡信2・北野英己2・土井一行1(1. 名大院生命農学2. 名大生物機能開発利用研究センター)

P081 イネ種子のハイスループット粒形計測ソフトウエアの開発
☆七夕高也・柴谷多恵子・江花薫子・矢野昌裕(生物研)

P082 新規粒形計測ソフトを用いた日本晴/コシヒカリBILsにおけるイネ粒形のQTL解析
☆柴谷多恵子・七夕高也・堀清純・矢野昌裕(生物研)

P083 *Oryza glaberrima* 染色体部分置換系統を用いたイネの一年生形質のQTL解析
☆久米暁子1・米田典央2・河原聡美3・高師知紀4・北野英己2・土井一行1(1. 名大院生命農学2. 名大生物機能開発利用研究センター3. 名大農4. HRI-JP)

P084 NERICA親品種WAB56-104と耐冷性品種はなの舞の交雑系統を用いた耐冷性に関するQTL解析
☆C. Wainaina1・犬飼義明1・中嶋泰則2・水上優子3・中村充3・浅沼修一 4・北野英己5・槇原大悟 4(1. 名大院生命農学2. 愛知県農総試3. 愛知県農総試山間農業研究所4. 名大農学国際教育協力研究センター5. 名大生物機能開発利用研究センター)

P085 ソルガム×スーダングラスのRIL集団を用いた再生性QTLの検出と再生茎数の評価法の開発
〇米丸淳一1・春日重光2・市川悦子2,4・樋口奈保子2,5・永山治美2,6・松本理絵2,7・安藤露1,3・河野いづみ3,8(1. 生物研2. 信州大AFC3. STAFF研4. 名古屋大生物機能5. 株式会社はくばく6. JA上伊那7. 株式会社増田採種場8. 理化学研究所)

P086 「U24」と「あやひかり」の倍加半数体系統を用いたコムギの閉花受粉性に関するQTL解析
藤田雅也1・松中仁1・久保堅司1・八田浩一1・A. Hamada2・奥本裕2・新田みゆき2・〇那須田周平2(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 京大院農学)

P087 ネパール在来パンコムギ系統とシロガネコムギの開花関連形質の遺伝解析
☆A. Ngyuen1・水野信之1,2・新田みゆき2・那須田周平2・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 京都大農学)

P088 ダイズ品種タマホマレの高イソフラボンQTLは種皮着色抑制遺伝子座と密接に連鎖する。
☆S. Miranda1・寺石昌義2・吉川貴徳3・築山拓司4・奥本裕5(1. 京都大学農学研究科2. 京都大学農学研究科3.東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部4. 京都大学農学研究科5. 京都大学農学研究科)

P089 枝豆品種の1莢内粒数に関するQTL解析
〇高田吉丈・猿田正恭(近中四農研)

P090 ナタネにおけるミトコンドリアプラスミドの父性遺伝制御QTL領域の詳細化
☆大嶋雅夫1・半田裕一1,2(1. 筑波大学生命環境科学2. 生物研)

P091 ブラシカ属におけるミトコンドリアゲノムの安定性に関わるMSH1遺伝子のホモログの単離
☆寺尾圭陽・河原優・安藤智広・今村順(玉川大学大学院農学研究科)

P092 ダイコングルコシノレートのQTL解析
☆Z. Zou1・石田正彦2・鈴木翔1・柿崎智博2・李鋒1・北柴大泰1・西尾剛1(1. 東北大学大学院農学研究科植物遺伝育種学研究室2. 農業・食品産業技術総合研究機構　野菜茶業研究所)

P093 EST-SSRマーカーを利用したダイコンの高密度連鎖地図の作成
〇白澤健太1・小山麻希2・平川英樹1・佐藤修正1・田畑哲之1・藤岡隆司2・君塚(高木)千明3・酒井隆子2・磯部祥子1(1. かずさDNA研2. みかど協和(株)3. 君塚野菜農場)

P094 トランスポゾンディスプレイによるアワ連鎖地図の作成
☆佐藤圭1・内藤健2・福永健二1(1. 県立広島大学生命環境学部2. 農業生物資源ジーンバンク)

P095 ホウレンソウ間性決定遺伝子近傍領域の連鎖地図の作成
☆織田祐二・小野寺康之・三上哲夫(北大院・農)

P096 ナスとげなし性遺伝子の詳細マッピング
〇宮武宏治・根来里美・山口博隆・布目司・大山暁男・福岡浩之(農研機構野菜茶研)

P097 real-time PCRを用いた合成パンコムギにおけるSNPの検出と連鎖地図の作成
松田龍典・M. Iehisa・〇宅見薫雄(神戸大農学)

P098 ソルガムの初期生育に関する遺伝学的解析
〇市川悦子1・春日重光2・大前梢1・大原圭祐2・次井千裕2・若子由佳里2・山下泰裕2・米丸淳一3・佐塚隆志1(1. 名大生物機能開発利用研究センター2. 信州大農学部AFC3. 生物研)

P099 トウモロコシの小雌穂化を引き起こすテオシント(*Zea mays* ssp. *huehuetenangensis*)の染色体領域
〇黄川田智洋・間野吉郎・玉置宏之・三ツ橋昇平・佐藤尚(農研機構畜産草地研究所)

P100 「はくさい中間母本農6号」の晩抽性に連鎖するDNAマーカーの開発と有用性の検証
☆柿崎智博1・加藤丈幸1,2・吹野伸子1・石田正彦1・畠山勝徳1・松元哲1(1. 農研機構・野菜茶研2. 三重大院・生物資源)

P101 イチゴの四季成り性と連鎖したSSRマーカーの開発
〇本城正憲1・布目司2・片岡園1・由比進1・矢野孝喜1・濱野恵1・山崎浩道1・森下昌三1・山本俊哉3(1. 農研機構東北農研2. 農研機構野茶研3. 農研機構果樹研)

P102 エリンギ (Pleurotus eryngii) における胞子欠損性変異検出STSマーカーの開発
奥田康仁1・上田純1・小畠靖2・村上重幸3・福政幸隆3・〇松本晃幸1(1. 鳥取大農2. 奈良県森技セ3.菌蕈研究所)

P103 スギ雄花の網羅的発現解析による雄性不稔に関わる遺伝子群の探索
〇二村典宏1・斎藤真己2・篠原健司1(1. 森林総研2. 富山森林研)

P104 オオムギ染色体導入コムギを用いたゴール形成昆虫の寄主反応に関わる遺伝子の探索2
☆吉田圭祐1・川浦香菜子1・徳田誠2・神代瞬2・松倉啓一郎3・松村正哉3・軸丸裕介4・荻原保成1(1. 横浜市大木原生研2. 九大3. 九州沖縄農研4. 理研PSC)

P105 大規模SNPデータに基づくトマト品種の遺伝子機能解析
〇平川英樹・白澤健太・佐藤修正・磯部祥子・田畑哲之(かずさDNA研)

講演番号・座長一覧

<table>
<tr><th></th><th>第1会場</th><th>第2会場</th><th>第3会場</th><th>第4会場</th><th>第5会場</th><th>第6会場</th><th>第7会場</th></tr>
<tr><td></td><td>共通講義棟
107教室</td><td>共通講義棟
108教室</td><td>共通講義棟
109教室</td><td>共通講義棟
110教室</td><td>共通講義棟
111教室</td><td>共通講義棟
112教室</td><td>共通講義棟
113教室</td></tr>
<tr><td rowspan="4">9月24日
午前</td><td>101-104
貴島祐治
9:00-10:00</td><td>201-204
白澤健太
9:00-10:00</td><td>301-304
氷見英子
9:00-10:00</td><td>401-404
辻　寛之
9:00-10:00</td><td>501-504
伊藤幸博
9:00-10:00</td><td>601-604
小林麻子
9:00-10:00</td><td>701-704
寺地　徹
9:00-10:00</td></tr>
<tr><td>105-108
田中淳一
10:00-11:00</td><td>205-208
土井一行
10:00-11:00</td><td>305-308
金子幸雄
10:00-11:00</td><td>405-408
最相大輔
10:00-11:00</td><td rowspan="2">505-509
中園幹生
10:00-11:15</td><td rowspan="2">605-609
松島　良
10:00-11:15</td><td rowspan="2">705-709
佐々英徳
10:00-11:15</td></tr>
<tr><td>109-112
寺内良平
11:00-12:00</td><td rowspan="2">209-213
津村義彦
11:00-12:15</td><td>309-312
風間裕介
11:00-12:00</td><td>409-412
西田英隆
11:00-12:00</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>510-513
宅見薫雄
11:15-12:15</td><td>610-613
阿部利徳
11:15-12:15</td><td>710-713
藤本　龍
11:15-12:15</td></tr>
<tr><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">9月24日
午後</td><td>113-116
久保貴彦
13:30-14:30</td><td>214-217
掛田克行
13:30-14:30</td><td>313-316
金澤　章
13:30-14:30</td><td>413-416
桧原健一郎
13:30-14:30</td><td rowspan="2">514-518
西内俊策
13:30-14:45</td><td>614-617
石川隆二
13:30-14:30</td><td rowspan="2">714-718
山崎将紀
13:30-14:45</td></tr>
<tr><td>117-120
青木法明
14:30-15:30</td><td>218-221
内藤　健
14:30-15:30</td><td>317-320
江面　浩
14:30-15:30</td><td>417-420
佐藤奈美子
14:30-15:30</td><td>519-521
下坂悦生
14:45-15:30</td><td rowspan="2">618-621
田中裕之
14:30-15:30</td><td rowspan="2">719-723
森　直樹
14:45-16:00</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="5"></td><td>622-624
古谷規行
15:30-16:15</td><td></td></tr>
</table>

日本育種学会　優秀発表賞　投票方法の改正に関連した注意点

１．<u>エントリー制を採用します．</u>
演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします．

２．<u>発表者マークの変更</u>
プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています．ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします．

2日目（9月24日）午前　口頭発表プログラム

9月24日	第１会場（１０７教室）	第２会場（１０８教室）	第３会場（１０９教室）	第４会場（１１０教室）
	◆座長　貴島祐治（北大院農）	**◆座長　白澤健太（かずさDNA研）**	**◆座長　氷見英子（岡山大植物研）**	**◆座長　辻寛之（奈良先端大）**
9:00	101 イネゲノム上に分布する機能既知遺伝子とQTL領域の比較 ☆山本英司・米丸淳一・山本敏央・矢野昌裕(農業生物資源研究所)	201 EST-based SNPマーカーによるダイコン高密度連鎖地図とゲノム解析への利用 〇北柴大泰・李鋒・Z. Zou・殿崎薫・西尾剛(東北大学大学院農学研究科)	301 セイヨウナタネ×カラシナの正逆交雑によるBゲノム一染色体添加型ナタネの育成 ☆高嶋美穂1,2・房相佑1・金子幸雄1(1. 宇都宮大　農2. 東京農工大院　連農)	401 染色体欠失系統を利用したコムギ7D染色体短腕上の出穂制御領域の探索 〇半田裕一1,2・宇井一3・菊地理絵4・川東広幸1・小川泰一1(1. 農業生物資源研2. 筑波大院生命環境科学3. 東京理科大生物工学4. 横浜市大木原生研)
9:15	102 多収性イネ品種間交雑（たちすがた／北陸193号）由来の組換え自殖系統を利用したバイオマス関連形質のQTLマッピング ☆松原一樹1・田中淳一1・常松浩史1・山本敏央2・米丸淳一2・溝淵律子2・山本英司2・矢野昌裕2・加藤浩1(1. 農研機構作物研究所2. 農業生物資源研究所)	202 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子*CRb*の詳細マッピング ☆加藤丈幸1,2・松元哲2・畠山勝徳2・吹野伸子2(1. 三重大・生物資源2. 農研機構・野菜茶研)	302 ダイコン×ブロッコリーからのCゲノム染色体添加型ダイコンの育成と形態学的特性 ☆尾形正幸1・石田正彦2・房相佑1・金子幸雄1(1. 宇都宮大農2. 農研機構　野菜茶業研究所)	402 出穂期遺伝子の配列多型を利用したオオムギ出穂安定性の解析 〇西田英隆1・土屋昌宏1・青木恵美子2・塔野岡卓司2,3・吉岡藤治2,4・柳沢貴司2・加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 農研機構・作物研3. 農水省技会事務局4. 農研機構・近中四農研)
9:30	103 新規のイネ短稈・晩生QTLの同定とその遺伝子診断 ☆富田因則・山口琢也(鳥取大農分子遺伝)	203 雄性不稔細胞質を持つRT102Cにおける稔性回復遺伝子のマッピング ☆村田隼人1・風間智彦1・本村恵二2・鳥山欽哉1(1. 東北大学大学院農学研究科2. 琉球大学農学部)	303 シロイヌナズナを用いたDNA突然変異へのLET効果の解析 (2) ☆平野智也1・風間裕介2・大部澄江2・白川侑希2・林祐子2・阿部知子1,2(1. 理研イノベーションセンター2. 理研仁科センター)	403 コムギ日長反応性遺伝子*Ppd-1*の配列変異が発現パターンに及ぼす影響 ☆田中啓二郎・井内佑樹・西田英隆・加藤鎌司(岡山大院自然)
9:45	104 *Raphanus sativus*と*Brassica rapa*の根肥大性に関するQTLのシンテニー解析 ☆殿崎薫・李鋒・北柴大泰・西尾剛(東北大院農)	204 ダイズ品「ヒュウガ」のラッカセイわい化ウイルス抵抗性のマッピング ☆猿田正恭1・高田吉丈1・山田哲也2・小松邦彦3・佐山貴司4・石本政男4(1. 近中四農研2. 作物研3. 北農研4. 生物研)	304 シロイヌナズナのM_1世代での迅速な突然変異検出系を用いたLET効果の解析 ☆風間裕介1・馬立秋1,2・平野智也3・大部澄江1・白川侑希1・林祐子1・阿部知子1,3(1. 理研仁科センター2. 埼玉大院理工3. 理研イノベーション推進センター)	404 栽培オオムギにおける春化要求性の自然変異：高度秋播性は東アジアに偏在する. ☆最相 大輔 1・石井 誠 1・堀清純2・佐藤和広 1(1. 岡大植物研2. 生物研)
	◆座長　田中淳一（作物研）	**◆座長　土井一行（名大院生命農学）**	**◆座長　金子幸雄（宇都宮大農）**	**◆座長　最相大輔（岡山大植物研）**
10:00	105 QTL解析に基づくダイズの種子形態、粒重および生育期間の関連の検討 〇小松邦彦1・高橋将一2・佐山貴司3・大木信彦2・船附秀行4・石本政男3(1. 北農研2. 九沖農研3. 生物研4. 近中四農研)	205 オオムギにおける高リジン突然変異遺伝子（lys3a）のマッピング ☆山下優子1・高橋飛鳥2・柳澤貴司3・武田　真1(1. 岡山大植物研2. 農研機構　近中四農研センター3. 農研機構　作物研)	305 イオンビーム処理によるイネのDNAトランスポゾン、*Dart*の活性化 〇前川雅彦1・西村秀希1・氷見英子1・飯田滋2・栂根一夫3(1. 岡大学植物研2. 静岡県大院生活健康科学3. 基生研)	405 Ehd1の発現制御に関わる新規感光性遺伝子の単離 ☆横尾敬行・斎藤大樹・浅見武人・吉竹良洋・徐銓・浅野翔・泉はるか・伊藤真・ムスタファカマル・谷坂隆俊・奥本裕(京大大学院農学研究科)
10:15	106 蘇麦3号由来のコムギ縞萎縮病抵抗性のQTL解析 〇鈴木孝子1・小林聡2・吉村康弘2(1. 道総研　中央農試2. 道総研　北見農試)	206 オオムギ7H染色体上の短芒遺伝子short awn 2 (lks2)の高精度マッピングおよび形質発現 〇武田真1・湯尾崇央1・山下優子1・櫻井幸恵2・三宅頌子2・一井眞比古3(1. 岡山大植物研2. 香川大農学部3. 香川大学)	306 アザシチジン処理で活性化した自律性因子 *Dart*の特定 〇西村秀希1・氷見英子1・飯田滋2・栂根一夫3・前川雅彦1(1. 岡大植物研2. 静岡県立大　大学院 生活健康科学研究科 3. 基礎生物学研究所)	406 Hd3a-14-3-3-OsFD1からなる複合体Florigen Activation Complexの機能解析 ☆辻寛之1・田岡健一郎1・大木出1・中島千佳1・児嶋長次郎1,2・島本功1(1. 奈良先端大・バイオサイエンス2. 阪大蛋白研)
10:30	107 コムギ近縁野生種の種間雑種における穂の形態形質に関する遺伝子座の推定 ☆太田敦士1・河原太八2・山根京子1,3(1. 大阪府大院生命環境2. 京大院農学3. 岐阜大応用生物科学)	207 スギ高密度連鎖地図情報を利用した核遺伝子型劣性雄性不稔遺伝子近傍マーカーの探索 ☆森口喜成1・伊原徳子1・内山憲太郎1・二村典宏1・斎藤真己2・伊藤信治3・樋口有未3・松本麻子1・谷尚樹4・平英彰5・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総研2. 富山森林研3. 新潟森林研4. 国際農研5. 元新潟大)	307 イネ転移因子mPingによるHd3a遺伝子の挿入変異体 ☆伊藤真・齊藤大樹・K. Mustafa・吉竹良洋・浅見武人・浅野翔・横尾敬行・徐銓・泉はるか・奥本裕(京大院農)	407 イネのjuvenile-adult相転換に関わる変異体の解析 ☆田中伸裕1,4・伊藤博紀2・千徳直樹2・榊原均3・小嶋美紀子3・井澤毅2・伊藤純一1・長戸康郎1(1. 東京大学農学生命科学研究科2. 農業生物資源研究所3. 理化学研究所4. 日本学術振興会特別研究員(DC1))
10:45	108 パンコムギにおけるオルガネラ間のDNA移行：その動態と起源 〇常脇恒一郎（福井県立大学名誉教授）	208 SNPマーカーを用いたスギの適応的遺伝子の検出と環境要因との関係及び連鎖地図上での位置 〇津村義彦・内山憲太郎・森口喜成・上野真義・伊原徳子(森林総合研究所)	308 TILLING法を用いたイネ*Oleosin*変異体の選抜 ☆松坂弘明・佐藤匡夫・佐藤光・熊丸敏博(九大院農)	408 組織学的解析による野生オオムギ *Hordeum bulbosum* L. の球茎形成過程の解明 ☆浅間尚海・古川真人・佐潟エリカ・坂智広(横浜市大木原生研)
	◆座長　寺内良平（岩手農研センター）	**◆座長　津村義彦（森林総研）**	**◆座長　風間裕介（理研）**	**◆座長　西田英隆（岡山大院自然）**
11:00	109 mRNA-Seq法によるリン酸欠乏及びリン酸過剰ストレス処理で応答するイネ転写産物の同定 ☆大野陽子1・川原善浩1・金森裕之1・水野浩志1・山形晴美1・山本麻由1・細川聡美1・伊川浩司2・朱作峰1・呉健忠1・伊藤剛1・松本隆1(1. 農業生物資源研究所2. STUFF研究所)	209 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座*CRa*の詳細な解析 ☆上野広樹1・有賀大輔1・松村英生2・松本悦夫3・林田信明4(1. 信大院総研科2. 信大遺伝子3. 長野野花試4. 信大応生系)	309 トマト重要形質解析のためのTILLING技術の基盤開発 ☆岡部佳弘・浅水恵理香・斎藤岳士・松倉千昭・有泉亨・溝口剛・江面浩(筑波大院生命環境)	409 イネの穂および小穂の発育に関わる秋晴密穂(*dn3*)変異体の遺伝解析 〇高牟禮逸朗・塩飽宏輔・長野宏則(北大院農)

11:15

2日目（9月24日）午前　口頭発表プログラム

第５会場（１１１教室）	第６会場（１１２教室）	第７会場（１１３教室）	9月24日
◆座長　伊藤幸博（東北大農）	◆座長　小林麻子（福井県農試）	◆座長　寺地徹（京都産業大）	
501 WRKY45恒常的発現レベル最適化による複合抵抗性イネの改良 ☆後藤新悟・下田（笹倉）芙裕子・霜野真幸・菅野正治・高辻博志(農業生物資源研究所)	601 NIASジーンバンクに保存されているダイズ遺伝資源の多様性評価. 1.農業形質に関わる既知の対立遺伝子変異の地理的分布 ☆加賀秋人・清水武彦・渡辺啓史・坪倉康隆・片寄裕一・原田久也・D. Vaughan・石本政男・友岡憲彦(生物研)	701 ニホンナシ品種「なつひかり」の弱い自家不和合性の解析 ☆加藤雅樹1・加藤修2・北口美代子2・佐々英徳1(1. 千葉大院園芸2. 千葉県農林総研)	9:00
502 「WILIS」由来のダイズわい化病高度抵抗性遺伝子 *Rsdv1*のファインマッピング ☆山下陽子1・大西志全1・竹内徹2(1. 道総研　中央農試2. 道総研　北見農試)	602 イネの無根毛変異体root hairless 2 (rth2) はセルロース合成酵素様遺伝子 (OsCSLD1) の機能喪失アレルによる ☆湯尾崇央1・塩谷健二2・宮尾安藝雄3・廣近洋彦3・一井眞比古4・武田真1(1. 岡山大学　資源植物科学研究所2. 香川大学　農学部3. 農業生物資源研究所4. 香川大学)	702 アブラナ科植物自家不和合反応における花粉動態の解析 ☆広井健一郎1・高山誠司2・鈴木剛3・諏訪部圭太4・渡辺正夫1(1. 東北大院生命科学2. 奈良先端大バイオ3. 大阪教育大4. 三重大生物資源)	9:15
503 複合病害抵抗性遺伝子*BSR1*による単子葉および双子葉作物への病害抵抗性の付与 ☆前田哲1・横谷尚起2・菅野正治1・小田賢司2・松井南3・廣近洋彦1・高辻博志1・森昌樹1(1. 農業生物資源研究所2. 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所3. 理化学研究所 PSC)	603 イネにおける根の発達と機能に関わる遺伝子ネットワーク探索のための網羅的遺伝子発現プロファイリング ☆竹久妃奈子1・佐藤豊1・五十嵐元子1,2・安彦友美3,4・B. Antonio1・並木信和5・犬飼義明6・中園幹生6・長村吉晃1(1. 生物研2. 奈良先端大・バイオ3. 東大農学生命科学4. 国際農研5. 三菱スペース・ソフトウェア(株)6. 名大院生命農学)	703 圃場における2年間の *Brassica juncea* × *B. napus*の交雑率の比較 ☆津田麻衣1・奥崎文子1・小長谷賢一1,2・七里吉彦1・田部井豊1(1. 生物研2. 森林総研森林バイオ)	9:30
504 ソルガムにおける紫斑点病耐性遺伝子(ds1)のアリルと地理的分布 〇川東広幸1・春日重光2・奥泉久人1・金森裕之1・安藤露1・米丸淳一1・呉健忠1・佐塚隆志3・松本隆1(1. 農業生物資源研究所2. 信州大学農学部3. 名古屋大学)	604 可視光と紫外光下で撮影した画像の解析に基づくイチゴ果実品質の定量的評価 〇吉岡洋輔1・堀江秀樹1・北谷恵美2・中山真義3・野口裕司1(1. 農研機構野菜茶研2. 農研機構九沖農研3. 農研機構花き研)	704 イネ第12染色体長腕に存在するトランスポゾン*mPing*による分離の歪み 〇加藤恒雄・柿窪善浩・堀端章(近畿大生物理工)	9:45
◆座長　中園幹生（名大院生命農学）	◆座長　松島良（岡山大植物研）	◆座長　佐々英徳（千葉大院園芸）	
505 イネ品種「Nortai」における次世代ゲノムシークエンサーを用いたイネいもち病菌に対する圃場抵抗性遺伝子座の同定 ☆高木宏樹1,2・阿部陽3・小杉俊一2・吉田健太郎2・寺内良平1,2(1. 岩手大学大学院連合農学研究科2. 岩手生物工学研究センター3. 岩手県農業研究センター)	605 高温登熟により発生するイネ玄米の乳白粒に関するQTL解析 坪根正雄・〇和田卓也・井上敬(福岡県農業総合試験場)	705 テンサイOwen型細胞質雄性不稔株におけるミトコンドリア呼吸の特徴付け ☆松永 宗幸・久保友彦・三上哲夫(北大・院・農)	10:00
506 害虫抵抗性ナガイモレクチンDB1遺伝子と除草剤抵抗性 mALSを導入した粗飼料用イネの作出 ☆吉村昌一郎1・角康一郎2・小松正明2・伊藤幸博1・鳥山欽哉1(1. 東北大学農学研究科2. クミアイ化学)	606 イネの高温登熟障害による胚乳白変部位の標準画像法による定量評価 濱村沙穂1・石崎和彦2・〇高原美規1(1. 長岡技術科学大学　生物系2. 新潟県農業総合研究所　作物センター)	706 次世代シークエンサーを用いたダイコンのミトコンドリアゲノムの配列解析 2:正常型とオグラ型ゲノムの比較 ☆田中義行1・津田瑞江2・安本景太2・山岸博1・寺地徹1(1. 京産大総合生命科学2. 京産大工)	10:15
507 いもち病菌非病原力遺伝子AVR-Pikとイネいもち病抵抗性遺伝子Pikにおけるアリル間認識特異性 〇神崎洋之・吉田健太郎・寺内良平((財)岩手生工研)	607 水稲品種「ハナエチゼン」の高温登熟耐性QTLを「新潟早生」に導入した準同質遺伝子系統の玄米外観品質 〇小林麻子1・杉本和彦2・矢野昌裕2・冨田桂1(1. 福井農試2. 農業生物資源研究所)	707 黒ダイコンで発見された稔性回復遺伝子の*orf138* に対する作用 ☆森悠太1・安本景太2・張麗3・山岸博1(1. 京産大院工2. 京産大工3. 国家蔬菜工程技術研究中心)	10:30
508 ダイズのアブラムシ抵抗性品種選抜の問題点 ☆小林政文1・村井保2(1. 東京農工大学連合大学院生物制御学2. 宇都宮大学農学部)	608 農業生物資源ジーンバンク由来イネコアコレクションの高温登熟特性 〇園田純也1・近藤始彦2・梅本貴之3(1. 鹿児島県農業開発総合センター2. 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構　作物研究所3. 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構　北海道農業研究センター)	708 雄性不稔細胞質を持つ野生イネ8系統のミトコンドリアゲノム構造と稔性回復遺伝子の比較 ☆加納孝紘・風間智彦・鳥山欽哉(東北大農)	10:45
509 リョクトウの貯蔵害虫抵抗性に必要なゲノム領域の解析 〇石本 政男1・寺石政義2・S. Liu3・佐山　貴司1・廣瀬亜矢3・中本有美3・横田　侑子1・佐藤修正4・平川英樹4・加賀 秋人1(1. 生物研2. 京大院農学3. 北農研4. かずさDNA研究所)	609 コシヒカリを遺伝背景とするハバタキの染色体断片置換系統群を用いた玄米外観品質に関するQTL解析 〇蛯谷武志・村田和優・山口琢也・伊山幸秀・尾崎秀宣・前田寛明(富山県農林水産総合技術センター)	709 アブラナ属植物のミトコンドリアゲノムにおける反復配列と細胞質雄性不稔の解析 ☆大嶺彩・平田豊・川合伸也(農工大院・農)	11:00

11:15

2日目（9月24日）午前　口頭発表プログラム

9月24日	第１会場（１０７教室）	第２会場（１０８教室）	第３会場（１０９教室）	第４会場（１１０教室）
11:15	110 イネ雌性配偶子形成過程のトランスクリプトーム解析 ☆久保貴彦1,2・藤田雅丈1・高橋宏和3・中園幹生3・堤伸浩4・倉田のり1,2(1. 遺伝研2. 総研大生命科学3. 名大院生命農学4. 東大農学生命科学)	210 結球レタスの根腐病抵抗性に連鎖するDNAマーカーの探索 ☆有賀大輔1・土屋宣明2・上野広樹1・松村英生3・松本悦夫4・林田信明5(1. 信大院総研科2. 長野農試3. 信大遺伝子4. 長野野花試5. 信大応生系)	310 主要アレルゲンを低減化した組換えイネ種子タンパク質と米アレルギー患者血清との反応性試験 ☆若佐雄也1・平野可奈2・宇理須厚雄3・松田幹2・高岩文雄1(1. 生物研2. 名古屋大学大学院生命農学3. 藤田保健衛生大学)	410 イネ twin eyes (twe) 変異体における小穂の発生学的解析. ☆大森良弘1・大津和弘1・坂紀邦2・北野英己3・平野博之1(1. 東大・院理2. 愛知農総試3.名大生物機能開発利用研究センター)
11:30	111 イネ反復配列の体細胞と生殖細胞における発現パターンの比較解析 ☆石黒聖也1・小笠原慧1・江澤光江1・佐藤裕2・貴島祐治1(1. 北大院農2. 北農研)	211 シーケンスキャプチャー法によるナス遺伝子近傍領域の網羅的SNPs探索 〇福岡浩之1・白澤健太2・平川英樹2・佐藤修正2・宮武宏治1・根来里美1・大山暁男1・布目司1・山口博隆1(1. 農研機構・野菜茶研2. かずさDNA研)	311 次世代型スギ花粉症治療米の開発 〇高岩文雄・楊麗軍・高木英典・若佐雄也・大田賢(農業生物資源研機能性作物)	411 イネGYPSY EMBRYO遺伝子は穂の枝分かれと花分裂組織の有限性を制御する ☆山木辰一郎1・長戸康郎2・野々村賢一1,3・倉田のり1,3(1. 遺伝研2. 東大農学生命科学3. 総研大生命科学)
11:45	112 イネ種子リポキシゲナーゼ3欠失性遺伝子と密接連鎖する穂発芽極易特性遺伝子のDNAマーカー選抜による除去 〇鈴木保宏1・白澤健太1,2・重宗明子3・笹原英樹3・太田久稔3,4・上原泰樹3・石川哲也3・三浦清之3(1. (独)農研機構・作物研2. 現・かずさDNA研3. (独)農研機構・中央農研4. 現・(独)農研機構・東北農研)	212 次世代シークエンサーを用いたニガウリ連鎖地図作製と有用形質マーカーの探索 〇松村１英生1・宮城徳道2・安藤裕教1・谷合直樹2・太郎良和彦2・首藤亜耶乃2・浦崎直也2(1. 信大遺伝子2. 沖縄県農研セ)	312 CoQ10を産生するパニカム野生種（Panicum meyerianum）形質転換体の作出 徐美淑1,4・高橋咲子2・門脇光一2・川向誠3・高原学4・☆高溝正4(1. 畜産草地研究所2. 農業生物資源研究所3. 島根大学生物資源科学科4. 韓国国立農業科学院)	412 イネの小穂に多面的な異常を生じる *tongariboushi*（*tob*）変異体の解析および原因遺伝子の単離 ☆田中若奈1・鳥羽大陽1・大森良弘1・河合新1・吉田明希子2・光田展隆3・高木優3・槌田智子4・市川裕章4・平野博之1(1. 東大院・理・生物科学2. 東大院・農学生命科学3. 産業技術総合研究所4. 農業生物資源研究所)
12:00		213 イチゴの萎黄病抵抗性遺伝子に連鎖するDNAマーカーの作成 〇橋爪不二夫1・辻朋子1・山本有子1・掛田克行2・橋本和紀2・瀬古裕輝2・小堀純奈1・北村八祥1・森利樹1(1. 三重県農研2. 三重大生物資源)		
12:15				

2日目（9月24日）午後　口頭発表プログラム

9月24日	第１会場（１０７教室）	第２会場（１０８教室）	第３会場（１０９教室）	第４会場（１１０教室）
	◆座長　久保貴彦（遺伝研）	◆座長　掛田克行（三重大生物資源）	◆座長　金澤章（北大院農）	◆座長　桧原健一郎（東大院農）
13:30	113 ダイズにおける染色体部分置換系統の育成 ☆渡辺啓史1・加賀秋人1・清水武彦1・町田佳代1・坪倉康隆2・夏正俊1・B. Eduardo2・山田哲也2・平田香里2・大木信彦3・山田直弘2・羽鹿牧太2・原田久也1・石本政男1(1. 農業生物資源研究所2. 作物研究所3. 九州沖縄農業研究センター)	214 オオムギ全ゲノムショットガン解析における極長ペアードエンドリードの効果 〇佐藤和広・元井由加・山地奈美(岡大植物研)	313 アグロバクテリウム法を用いた高頻度イネ相同組換え系の確立とβ 1,2-xylosyltransferase遺伝子破壊イネの作出と解析 〇小沢憲二郎1・小郷祐子1・松尾　幸毅　松尾　幸毅 2・高岩文雄1(1. 農業生物資源研2. 産業技術総合研究所)	413 レトロトランスポゾン *Tos17* 挿入系統を用いたイネ *OsHMA2* 遺伝子の機能解析 ☆佐藤(永澤)奈美子1・森美果子1・川本朋彦2・長戸康郎3・櫻井健二1・高橋秀和1・渡辺明夫1・赤木宏守1(1. 秋田県立大学2. 秋田県農林水産技術センター3. 東大農学生命科学)
13:45	114 コメ粒形のゲノムワイドアソシエーション解析とゲノム情報に基づく予測 〇岩田洋佳1・江花薫子2・宇賀優作2・林武司3(1. 東大院農学生命科学2. 生物研3. 中央農研)	215 オオムギ品種「はるな二条」由来の24、783完全長cDNA配列とデータベースの公開 〇松本 隆隆1・田中剛1・坂井寛章1・天野直己1・金森裕之1,2・栗田加奈子1,2・菊田有里2・神谷梢2・山本麻裕2・伊川浩司2,3・藤井信之4・堀清澄1・伊藤剛1・佐藤和広5(1. 農業生物資源研究所2. STAFF研究所3. 三菱スペースソフトウエア株式会社4. 日立公共エンジニアリング株式会社5. 岡山大学資源植物科学研究所)	314 アグロバクテリウム法によるカモミールへの遺伝子導入 ☆丸山瑛里佳・高原美規(長岡技術科学大学　生物系)	414 トマト果実の網羅的発現解析に基づく成熟制御因子RINの標的遺伝子の同定 ☆藤澤雅樹1・嶋羊子1・樋口直樹2・中野年継1・小山善幸2・春見隆文2・伊藤康博1(1. 農研機構 食総研2. 日大生物資源科学)
14:00	115 トマト商用F_1品種における両親ハプロタイプの推定とその遺伝的関係 ☆鈴木晶統1・松永啓2・大山暁男2・福岡浩之2・白澤健太3・岩田洋佳1(1. 東大院農学生命科学2. 農研機構野菜茶研3. かずさDNA研究所)	216 コムギ種子色に関与する *Tamyb10-A1* 遺伝子内から見出されたコムギ新規トランスポゾン *GeST*（*Genome Surfing Trader*）の特徴について ☆氷見英子・前川雅彦(岡大植物研)	315 微小金粒子の作成とそれを利用した葉緑体形質転換タバコの作出 ☆奥崎文子1・渡辺純平2・高橋真哉1,3・平沢　泉2・田部井　豊1(1. 生物研2. 早大・院・応用化学3. 東大・院・新領域)	415 反復高濃度糖処理によるニンジン子葉の不定胚形成の生理学的研究 ☆牧野翠(長岡技術科学大学大学院)
14:15	116 ソルガムのアノテーション情報がない領域から紫斑点病感染で発現誘導される遺伝子の同定 ☆水野浩志1・川東広幸1・川原善浩2・金森裕之1・南博3・森聡美1・佐々木晴美1・伊藤剛2・松本隆1(1. 生物研作物ゲノム2. 生物研バイオインフォマティクス3. 三菱スペースソフトウエア)	217 イネ活性型転移因子mPingを利用したストレス応答性遺伝子の発現改変を目指して ☆安田加奈子・築山拓司・齊藤大樹・寺石政義・谷坂隆俊・奥本裕(京大院農)	316 活性酸素消去の異なる酵素遺伝子を持つタバコ葉緑体形質転換体の比較 ☆辻村朋彦1・大矢悠貴2・山本裕範2・寺地徹2(1. 京産大院工2. 京産大総合生命科学)	416 miR171aによる植物の発生制御 ☆住吉光莉1・高梨秀樹1,2・有村慎一1・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. 名大理学)
14:30				

2日目（9月24日）午前　口頭発表プログラム

第５会場（１１１教室）	第６会場（１１２教室）	第７会場（１１３教室）	9月24日
◆座長　宅見薫雄（神戸大院農）	◆座長　阿部利徳（山形大農）	◆座長　藤本龍（新潟大院自然科学）	
510 イネの幼苗期における低温伸長性とABCトランスポーター*RCN1*／*OsABCG5*との関連性 ☆古川薫1・松田修一1・小森のぞみ1・得字圭彦1・高牟礼逸朗2・加藤清明1(1. 帯広畜産大学2. 北海道大学大学院農学研究院)	610 糊化温度が低いデンプン変異体の米粉パン特性 〇青木法明1・岡本和之2・梅本貴之1,3・鈴木保宏1(1.（独）農研機構　作物研究所2. 茨城県農業総合センター 生物工学研究所 3.（独）農研機構 北海道農業研究センター)	710 稔性回復ナタネにおいてサブリモンとして存在するCMS遺伝子*orf125*のコピー数の定量 ☆渡邊みずき・今村順(玉川大農)	11:15
511 イネの根の硝酸に対する成長反応に関する遺伝変異 ☆川原三和1・堀由登里2・清水顕史1,2・長谷川博1,2(1. 滋賀県立大院環境科学 （滋賀県立大学大学院環境科学研究科)2. 滋賀県立大環境科学 （滋賀県立大学環境科学部))	611 胚乳の澱粉粒の形状決定に関する分子細胞生物学的研究 ☆松島良1・前川雅彦1・藤田直子2・山下純1・坂本亘1(1. 岡山大学資源植物科学研究所2. 秋田県立大学生物資源学部)	711 *Aegilops mutica*細胞質をもつ細胞質置換コムギ系統のミトコンドリアゲノム比較解析 ☆Gyawali Yadav P.・田中義行・辻村真衣・寺地徹(京産大総合生命科学)	11:30
512 トウモロコシの通気組織形成に関与するエチレン応答性遺伝子の探索 ☆高橋宏和1・山内卓樹1・I. Rajhi2・長村吉晃3・堤伸浩2・西澤直子2,4・中園幹生1(1. 名古屋大院・生命農学2. 東大院農学生命科学3. 農業生物資源研究所4. 石川県立大生物資源工学研究所)	612 米糠中のフィチン含量の自然変異 ☆畑中啓佑1・末廣美紀1・吉田健一2・山崎将紀1(1. 神戸大学大学院農学研究科附属食資源教育研究センター2. 神戸大学大学院農学研究科)	712 シロイヌナズナとキャベツの体細胞雑種におけるミトコンドリアゲノムの解析 ☆津田瑞江1・田中義行2・安本景太3・寺地徹1・山岸博1(1. 京産大院工2. 京産大総合生命科学3. 京産大工)	11:45
513 イネのスベリン生合成経路に関与するNAM型転写因子の機能解析 ☆西内俊策1・渡邊宏太郎2・山内卓樹1・高橋宏和1・塩野克宏3・槌田(間山)智子 4・光田展隆5・高木優5・市川裕章4・中園幹生1(1. 名大院生命農学2. 名大農3. 福井県立大4. 農業生物資源研5. 産総研)	613 日本在来香り米の系統解析に基づくBADH2遺伝子の遺伝的・形質的解析 ☆大塚健太1・猪谷富雄2・石川隆二1(1. 弘前大学農学生命科学部　植物育種・遺伝学研究室2. 県立広島大学)	713 次世代シーケンサーを用いたイネ雌性配偶体構成細胞のトランスクリプトーム解析 ☆高梨秀樹1,5,6・平田悠人1・大柳一2,3・瓦間淳子2・永田俊文3・豊田敦4・藤山秋佐夫4・倉田のり3・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. 三菱スペース・ソフトウエア(株)3. 遺伝研・植物遺伝4. 遺伝研・比較ゲノム解析5. 名大理学6. 日本学術振興会特別研究員PD)	12:00

12:15

2日目（9月24日）午後　口頭発表プログラム

第５会場（１１１教室）	第６会場（１１２教室）	第７会場（１１３教室）	9月24日
◆座長　西内俊策（名大院生命農学）	◆座長　石川隆二（弘前大農学生命）	◆座長　山崎将紀（神戸大院農）	
514 染色体置換系統を用いたABA応答性に関与するパンコムギ染色体の同定 ☆M. Iehisa・宅見薫雄(神戸大農学)	614 異種染色体添加コムギ系統における種子貯蔵タンパク質の発現量と構造が生地強度におよぼす効果 〇田中裕之1・荒川達也1・辻本壽2(1. 鳥取大農2. 鳥取大乾燥地研)	714 遺跡出土資料の同定によるコムギ・オオムギ栽培化の絞り込み ☆丹野研一1・ウィルコックスジョージ2(1. 山口大学農学部2. フランス国立科学研究センター)	13:30
515 コムギ由来フルクタン合成酵素遺伝子を過剰発現させた飼料イネの穂ばらみ期耐冷性および生育特性 〇佐藤裕・吉田みどり・増田ゆかり・村山誠治・下坂悦生(農研機構北海道農研センター)	615 ダダチャマメ系品種の機能性遊離アミノ酸含量 〇阿部利徳(山形大学農学)	715 4倍性コムギの易脱穀性亜種は複数の起源をもつ ☆竹中祥太朗・河原太八(京大院農学)	13:45
516 The transgenic Arabidopsis over-expressing a salt stresses induced chloride channel gene (OsCLC8) exhibit higher salt tolerance and longer hypocotyl ☆李学佳1・津釜大1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東京大学農学生命科学研究科アジア資源環境研究センター2. 中国東北林業大学)	616 4MTB-GSL欠失ダイコンの生育段階におけるグルコシノレート含量と組成の変化 〇石田正彦1・小原隆由1・柿崎智博1・森光康次郎2(1. 農研機構　野菜茶業研究所2. お茶の水女子大学生活科学部)	716 オルガネラゲノムの変異からみたコムギ近縁野生種*Aegilops umbellulata*、*Ae. neglecta* 及び*Ae. columnaris*の多様性と系統関係 〇森直樹1・八杉有香1・大田正次2(1. 神戸大院農2. 福井県立大生物資源)	14:00
517 Water relations of salt-tolerant and sensitive black gram (Vigna mungo) varieties grown under salt stress conditions ☆KHIN THUZAR WIN・AUNG ZAWOO・大川泰一郎・平田豊・平沢正(東京農工大学)	617 日本および海外のキュウリにおける果実特性の品種間差違 ☆下村晃一郎・吉岡洋輔・杉山充啓(農研機構野菜茶研)	717 SSRマーカーによる野生型フツウソバ*Fagopyrum esculentum* ssp. *ancestrale*ならびに自家和合性近縁野生種*F. homotropicum*の類縁関係の解明 田柏青1・李成雲2・〇大迫敬義1(1. 京都府大院生命環境科学2. 雲南農大)	14:15

14:30

2日目（9月24日）午後　口頭発表およびグループ研究集会プログラム

9月24日	第１会場（１０７教室）	第２会場（１０８教室）	第３会場（１０９教室）	第４会場（１１０教室）
	◆座長　青木法明（作物研）	◆座長　内藤健（生物研）	◆座長　江面浩（筑波大院生命環境）	◆座長　佐藤奈美子（秋田県立大）
14:30	117 化学処理によるシロイヌナズナの迅速細胞溶解法 ☆津釜大侑・高野哲夫(東大アジアセンター)	218 イネソマクローナルバリエーションの全ゲノム塩基配列解析. V.トランスポゾン転移の検出 〇宮尾安藝雄・中込マリコ・山形晴美・金森裕之・伊川浩司・片寄裕一・高橋章・松本隆・廣近洋彦(農業生物資源研究所)	317 LjMyb12を利用したダイズ種子におけるフラボノイド生合成関連遺伝子の発現制御 ☆鳥井綾子・新井麻衣子・阿部純・喜多村啓介・山田哲也(北大院農)	417 イネ細葉遺伝子*SLENDER LEAF 1*は細胞分裂に関与する ☆吉川貴徳・桧原健一郎・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)
14:45	118 ゲノムワイドSNPを用いたスギ精英樹におけるアソシエーション解析 −雄花着花量および材質(1)− ☆内山憲太郎1・伊原徳子1・岩田洋佳2・坪村美代子3・三嶋賢太郎3・井城泰一3・渡辺敦史3・二村典宏1・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総合研究所2. 東大農学生命科学3. 森林総合研究所林木育種センター)	219 イネにおけるバルクDNA全ゲノムシーケンスによる迅速な遺伝子領域の同定 ☆阿部陽1・小杉俊一2・吉田健太郎2・高木宏樹2・夏目俊2・M. Tamiru2・落合祐介2・佐々木力1・寺内良平2(1. 岩手県農業研究センター2. 財団法人岩手生物工学研究センター)	318 HLHとbHLHタンパク質の拮抗的な作用によるイネ粒長と粒重の制御 ☆D. Heang・佐々英徳(千葉大園)	418 イネのadult phaseを早める*precocious*変異体の解析 ☆磯野美也子・桧原健一郎・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)
15:00	119 キュウリミトコンドリアゲノムにおける散在型反復配列と構造多型 小谷紗也加1・山本達也2・明石由香利1・田中克典3・西田英隆1・〇加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 萩原農場3. 弘前大人文)	220 高速DNAシーケンサーで探る栽培種近縁野生イネ *Oryza rufipogon* 3系統の多様性と進化 ☆大柳一1,2・長崎英樹3・永田俊文1・望月孝子3・神沼英里3・中村保一3・竹下紗由美2・会津智幸4・豊田敦4・藤山秋佐夫4・Q. Zhao5・B. Han5・倉田のり1(1. 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室 2. 三菱スペース・ソフトウエア株式会社 つくば事業部 3. 国立遺伝学研究所 大量遺伝情報研究室 4. 国立遺伝学研究所 比較ゲノム解析研究室 5. National Center for Gene Research and Institute of Plant Physiology and Ecology, Chinese Academy of Sciences)	319 コサプレッションを誘導する遺伝子と共に導入した薬剤耐性遺伝子のRNAサイレンシング誘導機構 ☆河西めぐみ1・種田晃人2・金澤章1(1. 北海道大学大学院農学研究院2. 弘前大学大学院理工学研究科)	419 イネの頂端分裂組織に異常のある*defective apical meristems*変異体の解析 ☆竹山政仁・桧原健一郎・伊藤　純一・長戸康郎(東大農学生命科学)
15:15	120 イネユビキチン様タンパク質RURM1は細胞分裂の安定性に関与する ☆角谷磨美・築山拓司・那須田周平・寺石政義・谷坂隆俊・奥本裕(京大院農学)	221 次世代シーケンサーを用いた北東北農林生産物のゲノム解析にむけて ☆夏目俊1・吉田健太郎1・小杉俊一1・三岡周子1・植村亜衣子1・阿部陽2・中出啓子1・坂本裕一1・中島将博1・竹田匠1・寺内良平1(1. 財団法人岩手生物工学研究センター2. 岩手県農業研究センター)	320 外来遺伝子を持たずに特定の形質が変化した植物体の作出に必要なエピジェネティックな変化の促進 〇金澤章・稲場純一・河西めぐみ・志村華子・増田税(北大院農)	420 イネ*REDUCED EMBRYO2*遺伝子は胚の大きさに影響を及ぼす 〇桧原健一郎1・永澤信洋2,3・竹田潤4・H. Sakai2・長戸康郎1(1. 東大院農学生命科学2. デュポン3. 現;秋田県立大生物資源科学部4. 東大農学部)
15:30				

2日目（9月24日）午後　口頭発表およびグループ研究集会プログラム

第５会場（１１１教室）	第６会場（１１２教室）	第７会場（１１３教室）	9月24日
518 カドミウム超耐性植物「ヘビノネゴザ」におけるカドミウムの吸収・移行におよぼす培地中必須金属の影響 〇吉原利一1,2・北崎真由1,2・鈴井伸郎3・石井里美3・河地有木3・山崎治明2,3・藤巻秀3・橋田慎之介1・島田浩章2・北崎一義1・庄子和博1・後藤文之1(1. 電中研環境科学2. 東京理科大基礎工学3. 原研RIイメージング)	◆座長　田中裕之（鳥取大農） 618 宮崎県在来野菜の振興を目的とした"糸巻き大根"の系統選抜による品種の育成 II.新系統の育成とそのDNA解析 ☆田中佑樹1・熊本耕平2・西村佳子1・富永寛3・陳蘭荘1,2(1. 南九州大学園芸・食品科学2. 南九州大学環境園芸3. 元宮崎県農業試験場)	718 *GS3*はイネの種子長と同様に柱頭露出性にも関与する ☆鷹野典子1・土井一行1,2・吉村淳1(1. 九大院農2. 名大院生命農学)	14:30
◆座長　下坂悦生（北海道農研セ） 519 光合成に影響を及ぼすイネミトコンドリアPPR MPR25の機能解析 ☆戸田拓士1・藤井壮太2・野口航3・有村慎一4・風間智彦1・鳥山欽哉1(1. 東北大院農学応用生命科学2. 京大院理学生物科学3. 東大院理学生物科学4. 東大院農学生命科学)	619 種間交雑法およびRAPD-PCR法を用いた宮崎在来野菜「日向カボチャ」新品種育成への試み ☆後藤健治1・程内ゆかり2・田中佑樹1・西村佳子1・陳蘭荘1,2(1. 南九州大学園芸・食品科学2. 南九州大学環境園芸)	◆座長　森直樹（神戸大院農） 719 日本におけるイネ品種の遺伝的多様性. III. いもち病抵抗性の変異をもとにした日本イネ品種群の分類 ☆田中(川崎)顕子1,2・林長生3・福田善通1,2(1. 国際農研2. 鳥取大連合農3. 生物研)	14:45
520 DROOPING LEAF 遺伝子の改変による中肋強化がイネの収量性へ与える効果 ☆鳥羽大陽・大森良弘・平野博之(東大・院理)	620 SMV 抵抗性を持つ高イソフラボン黒大豆の開発 〇古谷規行1・静川幸行1・松井元子2(1. 農林水産技術センター生物資源研究センター2. 京都府立大学大学院)	720 日本のテンサイ育種に利用された祖先品種集団の遺伝的多様性 ☆田口和憲・岡崎和之・黒田洋輔・高橋宙之(北海道農業研究センター)	15:00
521 シロイヌナズナとハクサイでは、生育初期のシュートでヘテローシスが見られる ☆藤本 龍1,2・川辺隆大3・今野周平3・加治誠3・W. Peacock1・E. Dennis1(1. CSIRO Plant Industry2. 新潟大院自然科学3.(株) 渡辺採種場)	621 SMV抵抗性を持つ極大粒・良食味の普通大豆新品種「京白丹波」の育成 〇滝澤理仁1・南山泰宏2・古谷規行1・小坂能尚1・岩川秀行3・蘆田哲也4・轟大志5・松井元子6・松本静治1(1. 京都府農技セ生資セ2. 和歌山大・教育3. 京都府農技セ農林セ4. 京都府農林水産部5. 京都府南普セ6. 京都府大院生命環境科学研究科)	721 二倍体ヒオウギアヤメと二倍体カキツバタの種間交雑による異質三倍体雑種の獲得 〇藪谷勤・原田信次・花崎歩・井上公一(宮崎大学農学部)	15:15
	◆座長　古谷規行（京都府農技セ） 622 他殖性作物育種におけるゲノミックセレクションの実行可能性 ☆矢部志央理1・大澤良2・岩田洋佳1(1. 東大院農学生命科学2. 筑波大院生命環境)	722 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究. XXXI. 里地・里山における主要有用植物としてのタケ類 〇村松幹夫(なし　岡山大学名誉教授)	15:30
グループ研究集会１　(15:45-17:45) 育種学と農学のこれからを考える22 若手の会主催・研究集会 世話人：山内 卓樹（名大） 高橋 有（岩大） 角井 宏行（名大） 話題提供： 「花成ホルモン・フロリゲンの「受容体」」 辻 寛之（奈良先端大） 「故郷農学への恩返し。「受精補完作用」による稔性回復への夢」 笠原 竜四郎（名大）	623 インキュベーターを使ったイネの世代促進において二酸化炭素施与、根域制限、分けつ除去が到穂日数におよぼす効果 ☆田中淳一((独)農研機構作物研究所)	723 ワサビにおける農産物直売所が果たす役割と文化地理学的傾向—道の駅の聞き取り調査から 〇山根京子(岐大応用生物)	15:45
	624 Vigna属野生種のNeo-domesticationを目指した栽培化遺伝子のファインマッピング ☆内藤健1・加賀秋人1・磯部祥子2・白澤健太2・平川英樹2・田畑哲之2・友岡憲彦1(1. 農業生物資源研究所2. かずさDNA研究所)		16:00
		グループ研究集会３　(16:15-18:15) 遺伝資源海外学術調査の現状と課題（11）・第40回生物進化・細胞遺伝談話会　共同開催 世話人：佐藤雅志（東北大） 加藤鎌司（岡山大） 大田正次（福井県立大） 森直樹（神戸大） 木庭卓人（千葉大） 話題提供： 「耐乾性作物の育種戦略～異種植物の遺伝子をどのように育種に利用するか」 辻本　壽（鳥取大学乾燥地研究センター） 「イネいもち病菌レースと抵抗性の相互分化に関する国際ネットワーク研究」 田中顕子・福田善通（鳥取大連合大学院・国際農林水産業研究センター）	16:15 16:30 17:45
	グループ研究集会２　(16:30-18:30) 大規模な実験データとオンライン情報は必要か？ Breeding Informatics 研究 X 世話人：岩田洋佳（東大大学院農学生命科学研究科） 矢野健太郎（明治大農学部） 話題提供： 「育種における大規模情報の活用法 —高速シーケンサーとデータベースの視点から—」 矢野健太郎（明治大）		18:15 18:30

口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです．発表にはご自分のパソコンをご使用ください．大会当日は試写室に試写用のプロジェクターを用意いたします．発表者はあらかじめ余裕を持って試写を行い，スライドのレイアウトや動作を確認いただくとともに，パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ず確認してください．

また，パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン（Windows XP または 7，Power Point）を用意しますので，**データのバックアップを入れた USB メモリを必ず準備してください．**

1．使用するノートパソコンの「画面の解像度」を **XGA**（1024×768 ピクセル）に設定してからスライドのレイアウトを確認してください．これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると，プロジェクターから正しく投影されないことがあります．

2．画面出力端子の形状が **D-sub15 ピン（ミニ）**であることを確認してください．この形状と異なる場合，Mac をご使用になる場合は変換アダプタを準備してください．

3．スクリーンセーバー，省電力設定は解除し，起動音を**ミュート（消音）**にしてください．

4．バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので，パソコンの電源コードを準備してください．

5．次講演者席，次次講演者席に着席したら，電源コード，モニタケーブルを順に接続し，パソコンを起動してください．

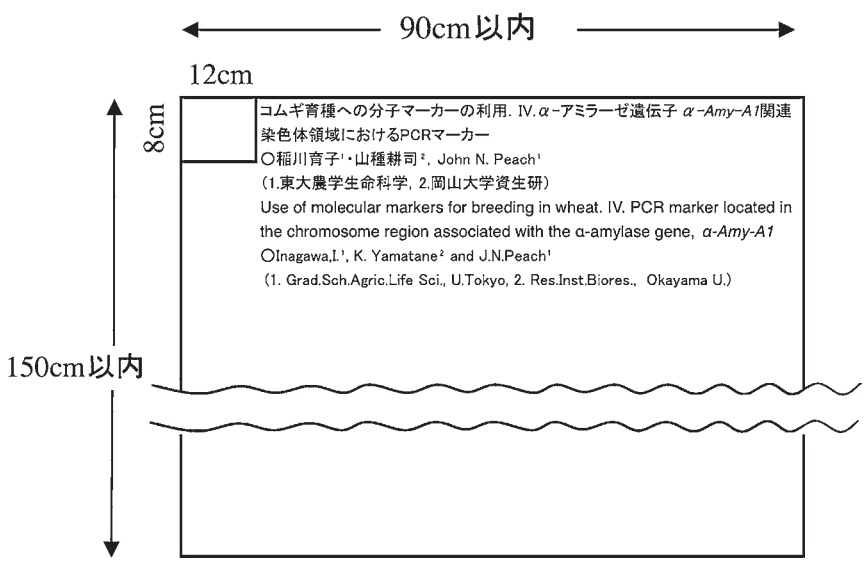
6．発表者の交替の際に，モニタケーブルの記号（A，B，C，D）に合わせて係員がモニタ切替器を操作します．発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合，発表者はミラーリングの変更を行ってください．なお，トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください．

7．動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので，発表者は試写の際にミラーリング方法を確認してください．

8．試写室にはスタッフが常駐しています．パソコンの設定，予備のパソコンの貸し出しにつきましては試写室のスタッフにお申し付けください．

ポスター作成要領

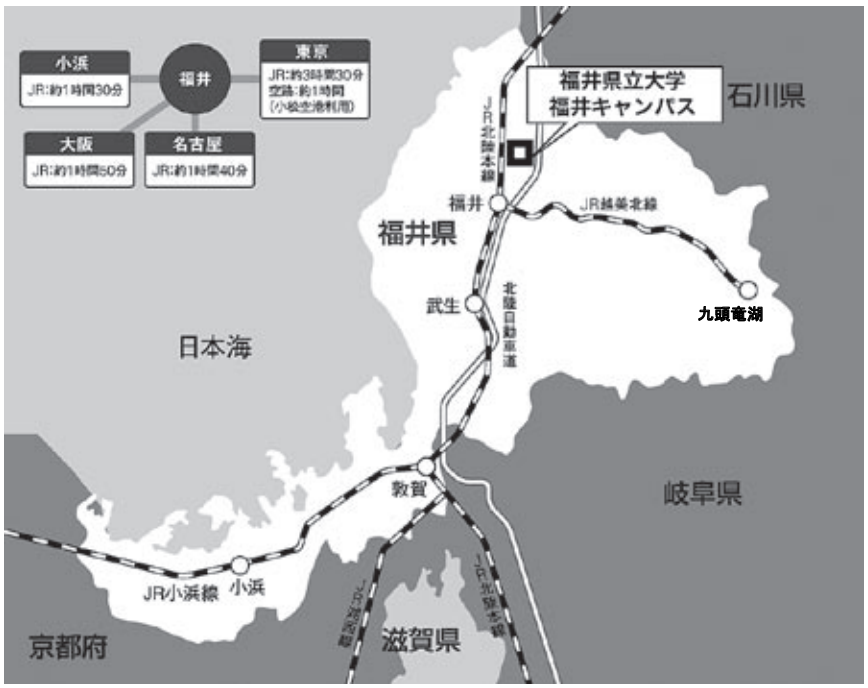
1．ポスターは横 90cm×タテ 150cm に収まる大きさで作成してください．
2．ポスターの上部の左側にはポスター番号を貼付ける余白（横 12cm×タテ 8cm）を残してください．
3．ポスターの上部には，オンライン登録と同一の演題名，著者名，所属を 48 ポイント以上の文字サイズを使い，日本語，英語を併記してください．
4．図表のタイトル，説明文は英語で表記してください．
5．ポスターは 9 月 23 日（金）の 8：30～9：30 に指定場所に貼りつけてください．発表後のポスターはできるだけ会期中貼ったままにして，9 月 24 日（土）16：00 までに撤去してください．



その他，ご不明の点は大会運営委員会(jsb120fk@fpu.ac.jp)にお問い合わせください．

講演会場（福井県立大学福井キャンパス）へのアクセス

JR 福井駅までの交通案内



・小松空港から：リムジンバス 約 1 時間 10 分
・JR 東京駅から：東海道新幹線 ひかり ―（米原乗換え）― 北陸本線 特急しらさぎ　約 3 時間 30 分
・JR 名古屋駅から：特急しらさぎ　約 1 時間 40 分
・JR 大阪駅から：特急サンダーバード　約 1 時間 50 分

福井県立大学福井キャンパスまでの交通案内

福井県立大学福井キャンパスへのアクセスについては、福井県立大学ホームページ http://www.fpu.ac.jp の「交通案内」を併せてご覧ください.

・JR 福井駅から
　会場への貸切バス（有料 500 円）で約 30 分
　　乗車場所と発車時刻は次ページの JR 福井駅周辺マップと時刻表をご覧ください.
　路線バス（京福バス 590 円）で約 30～40 分
　　JR 福井駅西口近くの京福バスのりば 10 番 27 系統
　　大学病院新田塚線「県立大学」下車
　　のりば 11 番 33・34・35・37 系統　大学病院線
　　「県立大学」下車.
　　乗車場所は JR 福井駅周辺マップをご覧ください.
　乗用車（タクシー（約 3,000 円））で約 30 分

・北陸自動車道「福井北 I.C.」から
　乗用車で約 10 分
　　福井北 I.C. 出口を左折、「福井県立大学」の案内表示に従って進んでください. 大学東門（正門）に着きます（左図福井北 I.C. からの矢印参照).
　　大学構内には充分な駐車スペースがあります.
　　駐車場の場所は講演会場案内図をご覧ください.

ＪＲ福井駅周辺マップ

貸切バス時刻表（福井駅東口⇔福井県立大学）

所要約３０分 片道５００円

９月２３日（１日目）		９月２４日（２日目）	
福井駅東口発	福井県立大学発	福井駅東口発	福井県立大学発
８：００（４台）	●１７：１５（８台）	８：００（８台）	１６：００（６台）
８：３０（４台）			１８：１５（２台）
▲９：２０（４台）			１８：４５（１台）
			１９：００（２台）

・料金は，福井駅からご乗車のときは降車時に，福井県立大学からご乗車のときは乗車時にお支払いください．お釣りのいらないようにご準備ください．

・乗車にかかる時間によりバスは出発が遅れる可能性があります．ご了承ください．

・▲印のバスは，交通事情等により出発が多少遅れる可能性があります．

・●印のバスは，学会賞受賞講演終了後に福井県立大学を発車します．受賞講演が延長したときは，それに対応して発車します．

・懇親会送迎用の無料バスはありません．懇親会場へは●印のバス（有料）をご利用ください．

講演会場案内図（福井県立大学福井キャンパス）

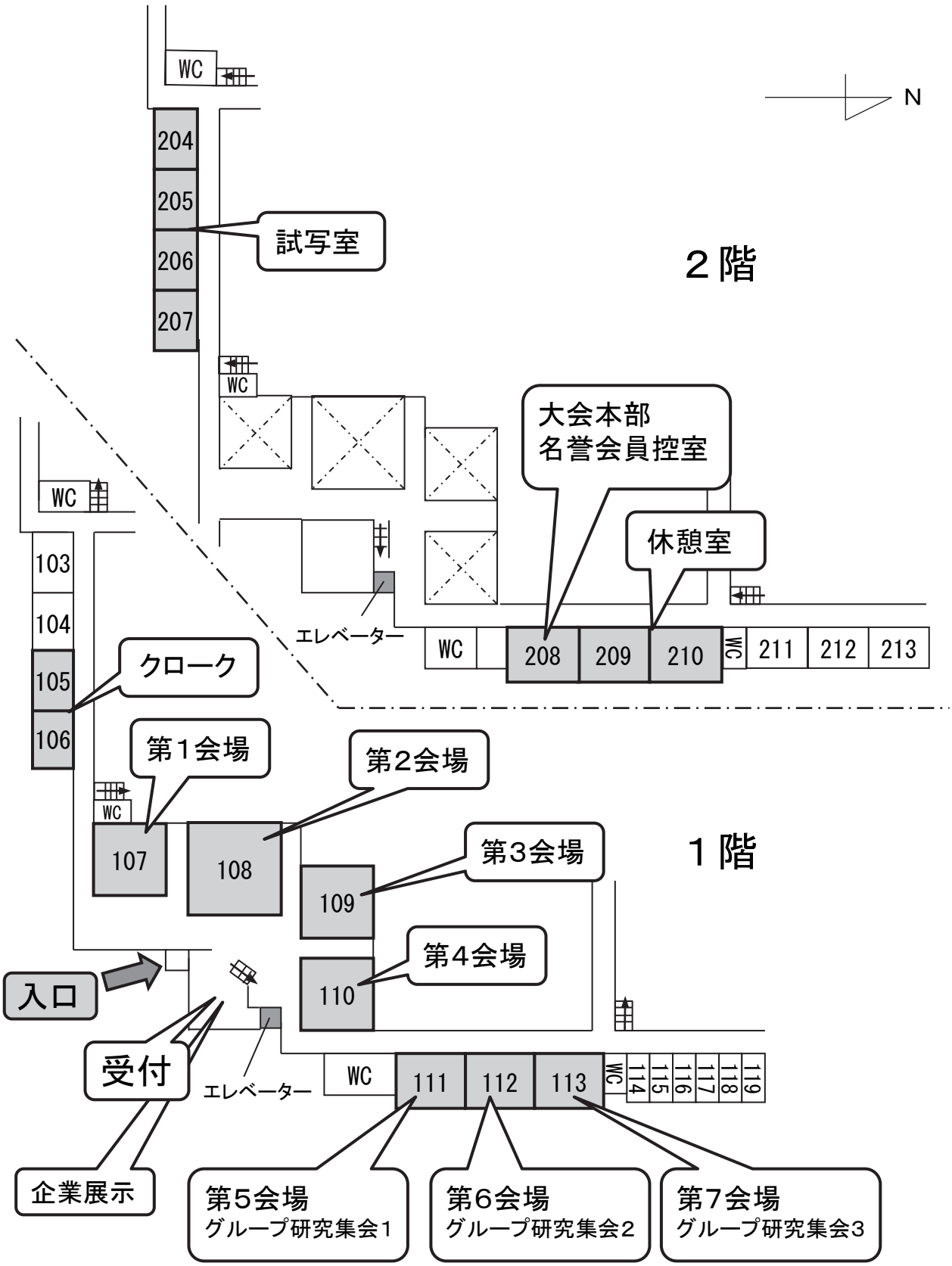
乗用車でお越しの方へ

福井キャンパスでは，四方に駐車場を設備し約 1,200 台の駐車が可能です．大学駐車場をご利用ください．

学生食堂の営業について

大会期間中 9 月 23 日（金・祝）と 24 日（土）は休日ですが，学生食堂を 11：30～13：30 の間営業いたします．席数に限りがあり時間がかかることが予想されます．ご了承ください．

共通講義棟（受付・クローク・大会本部・口頭発表・試写室・企業展示）



日本育種学会 2011 年度秋季大会 市民公開シンポジウム

「みんなで話し合う福井の作物と農業—食糧生産と文化の視点から—」

日時：2011 年 9 月 25 日（日）13:00～16:30
場所：福井県立大学福井キャンパス交流センター講堂
（福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4－1－1）
主任：大田正次（福井県立大学生物資源学部）

１．「高温でもきれいに実る水稲品種を目指して」
冨田　桂（福井県農業試験場）
２．「いもち病に強いコシヒカリ－コシヒカリ BL の成果と課題」
福山利範（新潟大学農学部）
３．「地元産コムギで地産地消－水田転換作物の提案」
村井耕二（福井県立大学生物資源学部）
４．「在来作物の魅力と活用－山形を例に」　江頭宏昌（山形大学農学部）
５．「福井における伝統野菜の育種」　野村幸雄（福井県丹南農林総合事務所）
６．「地域農業の現状から 10 年後の姿を考える」
北川太一（福井県立大学経済学部）

市民公開シンポジウム会場への交通案内

JR 福井駅東口から貸切バス（無料）

・12：00 発の県立大学行き貸切バスを 2 台用意していますのでご利用ください.
・シンポジウム終了後も県立大学発福井駅東口行きの貸切バス 2 台を用意しています.
・なお，いずれも定員を超えた場合は下記の路線バス（京福バス）をご利用ください.

JR 福井駅前（西口）から京福バス（片道 590 円）

・京福バスのりば 11 番 33・34・35 系統 大学病院線「県立大学」下車（所要約 40 分）.
・福井駅前 11：20，12：12 発をご利用ください.
・シンポジウム終了後は，県立大学 16：53，17：53 発をご利用ください.

乗用車でお越しの方へ

・大学構内の駐車場をご利用ください.

JR 福井駅前 貸切バス・京福バスのりば案内

市民公開シンポジウムに関するお問い合わせ

日本育種学会 2011 年秋季大会運営委員会（委員長　大田正次）
TEL. 0776-61-6000（内線 3614）　FAX. 0776-61-6015　E-mail: jsb120fk@fpu.ac.jp